



### 矢島 渚男 選

冬日和一本道にはなれたり

奈良市 浦城 亮祐

【評】斎藤茂吉の「あかあかと一本の道とほりたりたまきはる我が命なりけり」を思い出すが、茂吉の深刻さに対して、この句は道に迷ってしまったと滑稽。今年は迷わないように行きましよう。

冬の雁争ひのない空を行く

北名古屋市 月城 龍二

【評】争いのない空に作者の思いが込められているのだろう。地球上の空が平和であって欲しい。鳥たちのためにも。

いつからか人住まぬ家柿熟るる

千葉市 森田千代子

【評】「いつからか」が率直でよい。自分の近くでも、昔は村中知っていたものだが最近では知らない。柿手に差し足巫女の初神楽

星の中二人は一つ姫初め

横須賀市 大塚遊球子

定位置にふぐりを直しおでん酒  
濱松市 久野 茂樹

贅沢を言はず冬青空がある

神奈川県 中島やさか

思惟仏の頬杖秋思かと思ふ

町田市 谷川 治

頑張っているば青春冬うらら

広島県 水野 英明

誰かれに話しかけたし冬うらら

君津市 菅又 久子

### 高野ムツ才 選

雪来るぞ来るぞと空がのしかかる

北見市 藤沢 直美

【評】さあ、まもなく大雪とはかり厚みを増す一面の雲。北国ならではの雪への畏怖が、口語のリズムに乗って実にリアルに伝わる。鵬猛る猛りて父も老いるなよ

【評】鵬の激しい声に父の叱声を思い出した。年老いた今も、その荒々しさを失うことなく、未長く元気でいて欲しいとの子の呼びかけである。

あまあまの味噌あつあつの大根かな

津市 中山 道春

【評】「あまあま」「あつあつ」が相乗効果を生んで美味しそうな風呂敷吹き大根ができた。では遠慮なくいただきます。

夫死んで吾まだ生きて着ぶくれて

逗子市 鈴木喜久代

火と水の惑星に住み紅葉狩  
松山市 高山 洋子

飲み込めぬガムのやうなる開戦日

横浜市 前島 康樹

改札をコントラバスと北風

東京都 田中 靖人

このころは初めてなるぞ焼芋屋

下妻市 神部 貢

あらためて妻居ぬを知る零余子飯

葛城市 二上 三六

陸奥の初風万の死者の黙

大船渡市 桃心地

### 正木ゆう子 選

熊こま帰れ帰れと地蔵菩薩

さいたま市 鵜飼 克枝

【評】熊の出没が多いこの冬。人にとっても熊にとっても危険な遭遇が無いように、熊よ小熊よ、山に帰れと促すのは、道辺のお地蔵さま。熊の親子に、その声が届くといい。

山茶花やファンデーションは我が花粉

東大和市 井上 鈴野

【評】花に花粉があるように、人間の女にとって、化粧品は花粉であるという発想の面白さ。粉をはたいていると、雌蕊になったような気分。このポストは入選しない凍つる朝

【評】没を嘆く投句、実はとても多くて悩ましいのだが、この句はなんとポストのせいになっているのが楽しい。ポストのせいではないけれど、見上げると全て私に降る雪よ

姉の如き選者去りたり山装ふ

名古屋市 小池 史恵

鯛焼と夫待つ小さき家もある

鹿嶋市 津田 正義

ポケットのべえまめくみ鴨来たる

三豊市 大西 澄子

熱の手にみかん冷たき夕べかな

栃木市 井岡 幸男

雪吊りの整ひてより風鳴る樹

小金井市 高橋 広子

深雪晴みやまに動く黒い物

仙台市 大谷あつ子

【評】没を嘆く投句、実はとても多くて悩ましいのだが、この句はなんとポストのせいになっているのが楽しい。ポストのせいではないけれど、見上げると全て私に降る雪よ

【評】没を嘆く投句、実はとても多くて悩ましいのだが、この句はなんとポストのせいになっているのが楽しい。ポストのせいではないけれど、見上げると全て私に降る雪よ

【評】没を嘆く投句、実はとても多くて悩ましいのだが、この句はなんとポストのせいになっているのが楽しい。ポストのせいではないけれど、見上げると全て私に降る雪よ

【評】没を嘆く投句、実はとても多くて悩ましいのだが、この句はなんとポストのせいになっているのが楽しい。ポストのせいではないけれど、見上げると全て私に降る雪よ

### 小澤 實 選

冬うららドッチボールに校長も

野田市 鈴木 武

【評】冬晴れの校庭に出て、児童たちがドッチボールを楽しんでいる。すると、校長先生も参加してきた。校長と児童との距離が近いのがいい。小学校だろうと想像した。鶏五羽を小屋に追ひ込む冬夕焼

【評】しばらく庭の冬草をついばませた五羽の鶏を小屋に追い込んで、今日の仕事は終わりである。この鶏が産んだ卵はおいしいだろう。転勤二年の竹輪麩なきおでん

【評】転勤二年目となったが、この土地のおでんにちくわぶが無いことに憤れている。この土地じたいに親しめていないことも想像できる。生きてある証の霜焼も

敬礼で完交番の豊替

秋田市 松井 憲一

冬風をゆく自衛艦水脈太く

名古屋市 可知 豊親

熊除けに吹くハーモニカ「草競馬」

川崎市 横山由紀子

熱燗の猪口は籠盛り志野織部

栃木県 あらあひとし

燗酒に太田和彦気取りなり

瑞浪市 岩島 宗則

三時間掘り四尺の自然薯ぞ

川崎市 堀尾 笑王

【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

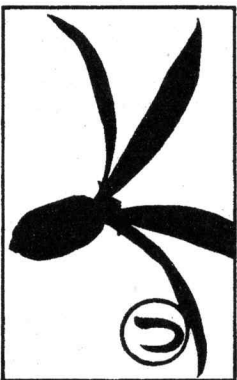
【評】短歌は機会詩という一面があり、時局で話題の人がいろいろ登場する。昨年もつとも短歌に登場したのはなんといっても大谷翔平選手だろう。特にWBCでの劇的な優勝は感動的であった。歓喜、感激のあまり思わずかたわらの妻に抱きついた。おもしろい。スポーツの力は実に偉大である。

### 年間賞 短歌 ①

四年振り友との会話弾みけり振り返る人に会釈で詫げる

東京都 寺岡美聖子

【評】コロナ下の規制が緩和され、公共の場でも友人と楽しく会話できるようになった。ただ、はしゃぎすぎは要注意。「振り返る人」からは、周囲の人々の厳しい反応も伝わる。気まずい思いで作者は黙って頭を下げたのだろう。晴れやかな上句とおずおずとした下句の対比から、新型コロナウイルスをめぐる過渡期の状況が浮かび上がる。(栗木京子)



題字デザイン・イラスト 福田美蘭